

① 米個人消費支出(PCE)デフレーター

米商務省が23日発表した11月の個人消費支出(PCE)物価指数は総合指数が前年同月比 **5.7%**上昇し、1982年7月(5.8%)以来約39年ぶりの高い伸びとなった。

変動の激しい食品とエネルギーを除くコア指数の上昇率も **4.7%**と89年2月以来の水準に高まった。

市場予想は4.5%上昇だった。

個人消費支出(PCE)デフレーターコア指数は、米連邦準備理事会(FRB)が重視する物価指標。

市場では新型コロナウイルスの変異種「オミクロン型」の感染拡大も、供給混乱を長引かせてインフレ加速につながるとの予想が出ている。

② 米国2年国債利回り

米国2年国債利回りが上昇。

0.7%近くに。

これを受けて米ドルが114.50まであともう一步。

米ドルが強い割にはGOLDも1809ドルと強い。





③ 日本株

海外投資家の日本株売りが続いている。

東京証券取引所が23日発表した前週(13～17日)の投資部門別株式売買動向(東京・名古屋2市場、1部、2部と新興企業向け市場の合計)によると、海外投資家は現物株を4660億円売り越した。

売り越しは6週連続。

新型コロナウイルスの感染拡大初期にあたる2020年2～3月(8週連続売り越し)以来の長さとなった。

売越額は9月第5週(9月27日～10月1日)の4889億円に次ぐ大きさ。

6週間の売越額の合計は1兆2926億円にのぼった。